



越部小だより



実りの秋

～ コロナ対策を工夫し運動会で成長を ～

10月24日(土)は、運動会です。学校では、練習にも熱がこもってきました。今年は、コロナ禍で感染対策を実施しながらの練習、本番になります。入退場、整列、待機、演技中全てにおいて、密を避けたり、掛け声を工夫したりして、安全な運動会を目指します。

しかし一方、子どもたちが、歯を食いしばって練習をしている姿、本番で一生懸命にがんばる姿を見ると感動します。このような感動は、子どもたちのひたむきな姿から生まれるものです。「がんばることは素晴らしいことだ」「負けても、最後まで頑張る姿はカッコいい」そんな気持ちを子どもたちにももたせたいと願っています。がんばったことを認めてもらえた子どもたちは、達成感を感じます。達成感は自信や意欲につながります。自信→意欲→達成感→自信…というサイクルを経ることで子どもたちは成長します。

このように、運動会は、子どもたちの心根を深くし、心の中の土を耕し、肥料を与え、成長させる絶好の機会ととらえ、臨んでいきたいと思えます。

今回の運動会は、会場の密を避けるため、保護者の方のみのご参加になりますが、温かい拍手と最大限のほめ言葉をかけてやっていただきますようよろしくお願いいたします。

□ 月をめぐる ～ 中秋の名月 ～

10月 神無月を迎えました。今年は、中秋の名月である十五夜が10月1日でした。別名「芋名月」ともいわれ、里芋やサツマイモなどを中心に、芋類の収穫物を月に供える風習から生まれた言葉です。江戸時代になると、旧暦の中秋の頃は稲が育ち、収穫が始まる時期。そのため「中秋の名月」は、秋の収穫を喜び、感謝する祭りとして広く知られるようになりました。

「中秋の名月」から約1ヶ月後となる旧暦の9月13日の月のことを「十三夜」または「後(のち)の月」といいます。実は、この日にもお月見をする習慣があります。日本では「十三夜」も「中秋の名月」と同様に大切にされてきました。今年は、10月29日(木)です。

現代を生きる私たちは、ふと月を見上げる機会も少なくなっています。月や星空を家族で楽しむ機会をとおして、理科や自然に興味を持つ子どもたちが増えてくれたらと願っています。

□ 修学旅行 9/18(金)

～あをによし奈良の都～

あおによし ならのみやこは さくはなの
におうがごとく いまさかりなり
(万葉集)

「あをによし」とは、奈良をほめたたえる言葉。

1300年前、この地に宮(平城宮)が置かれ、都として栄えました。

(行程) 法隆寺→興福寺→東大寺→平城宮

日帰りの修学旅行になりましたが、古都「奈良」を訪れ、社会科の歴史学習をより深めました。例年の修学旅行では訪れることのない興福寺や平城宮跡の施設では、「阿修羅像」をはじめとする多くの国宝の仏像と出会い、古の人々の暮らしの様子や朝鮮半島からの文化の伝播の様子などを学びました。また、数多くの貴重な文化遺産を支えるために、「ひと」「わざ」「もの」が守り継がれていることに気づくことができました。どこも人が少なく、ゆっくりと見学することができました。



〔法隆寺〕



〔東大寺・大仏〕



〔平城宮・朱雀門〕

〔10月の行事予定〕

22	木	委員会活動
23	金	運動会前日準備
24	土	運動会
25	日	運動会予備日
26	月	振替休業日(運動会)
27	火	ALT
28	水	
29	木	なかよし学級⑦
30	金	移動図書館

〔運動会ご観覧のお願い〕 10/24(土)

新型コロナウイルス感染防止のため、密集を避けるためにPTA会員数106名の2倍程度のご観覧者数を設定させていただきました。そのため、各家庭2名までのご協力をお願いしているところですが、未就学のお子様がお家に1人になる場合などについては、観覧者用紙の欄外にご記入の上、一緒にご観覧いただいても差し支えありません。